



2 学年選択「知床概論Ⅱ」の授業

- 1 科目名 知床概論Ⅱ（2年選択・2単位）
- 2 講師 斜里町立知床博物館 学芸員 合地信生 氏
- 3 担当 高石大全（教諭、地歴公民科）
- 4 日時 令和3年8月25日（水）3～4校時
- 5 内容
 - 知床半島の形成
海底火山の形成、オホーツク海の形成、知床連峰の形成、知床半島の岩石、海岸線で見られる地形や岩の形成と特徴
 - 気候変動（氷河期について）
新生代の氷河期と間氷期、氷河の分布、氷河期の日本列島、産業革命以降の気温変化、オホーツク海の流氷の分布、流氷ができるメカニズム、知床半島への流氷接岸

1 学年選択「知床概論Ⅰ」の授業

- 1 科目名 知床概論Ⅰ（1年必修・1単位）
- 2 講師 知床自然大学院大学設立財団業務執行理事（元知床博物館長） 中川 元 氏
- 3 担当 先田直裕（教諭、教務部長、理科）、丸子恵未（教諭、1年担任、家庭科）
- 4 日時 令和3年8月24日（火）4校時
- 5 内容 絶滅種について
 - ①オオカミとはどんな動物か（分布・生態・食性・繁殖等）
 - ②カワウソとはどんな動物か（分布・生態・食性・繁殖等）
 - ③絶滅した理由や社会的な背景など

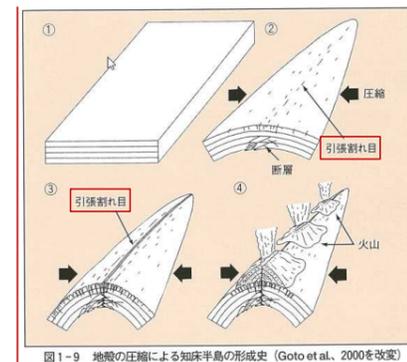
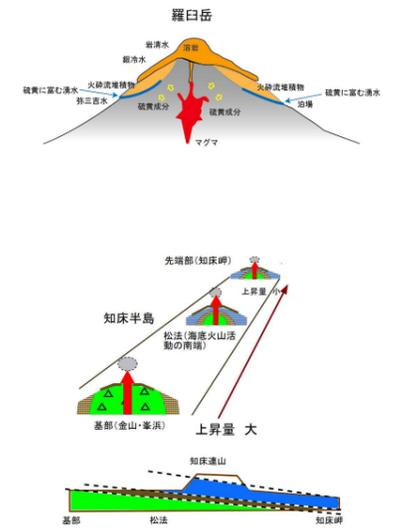


《エゾオオカミ》

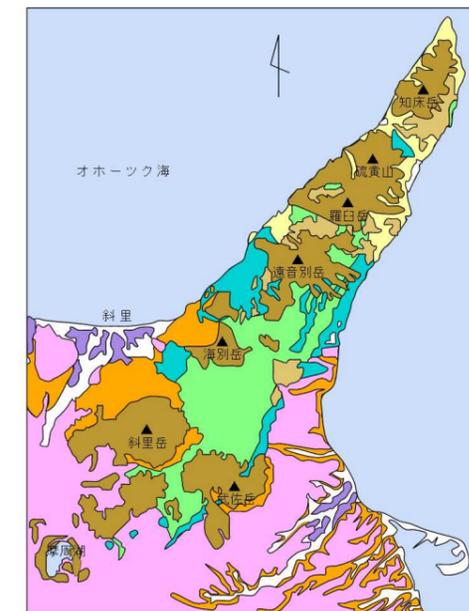
学名: *Canis lupus hattai* は、北海道に分布していたタイリクオオカミの亜種。
 頭胴長 120 - 129 センチメートル、尾長 27 - 40 センチメートル。体毛は黄色っぽく、尾の先端は黒色。両前足には黒斑がある。吻は細長い。1900年に絶滅したニホンオオカミよりサイズは大きい。
 エゾシカの乱獲→エゾオオカミの餌が減少→開拓者の馬や牛を襲う→オオカミを有害獣として駆除
 1896年に函館の毛皮商によってエゾオオカミの毛皮数枚が扱われたという記録を最後に確認例がない。
 急激に絶滅まで進んだので、剥製や骨はほとんど残っていない。（北大に剥製オスメス各2、頭骨5、新ひだか町アイヌ民族博物館にオス頭骨1、ロンドン自然史博物館にオス頭骨1）

《ニホンカワウソ》

ニホンカワウソはユーラシアカワウソの一亜種 *Lutra lutra nippon* または独立種 *Lutra nippon* とされる。
 過去には北海道全域に広く分布していたといわれているが、1940年代には、すでに生息情報がほとんどなくなっていた。1950年代に知床北側の斜里川付近で捕獲された毛皮標本が知床博物館に保管されていますが、これ以降の確実な記録はありません。



海底の活動(海底火山活の中心 赤岩)



知床半島の地質図

古い海底活動と新しい陸上の活動がある

- | | |
|------|----------------|
| 第四紀層 | 礫・砂・泥・及び砂丘砂 |
| | 泥炭 |
| | 崖錐・段丘堆積物など |
| | 火砕流 |
| | 第四紀溶岩 |
| 第三紀層 | 第三紀溶岩 |
| | 泥岩・砂岩・礫岩 |
| | (知布泊層・幾品層・越川層) |
| | 火山砕屑岩(知床岬層) |
| | 凝灰岩・凝灰角礫岩 |
| | (奥薬別火砕岩層・忠類層) |

講師の中川先生、合地先生

ありがとうございました。

